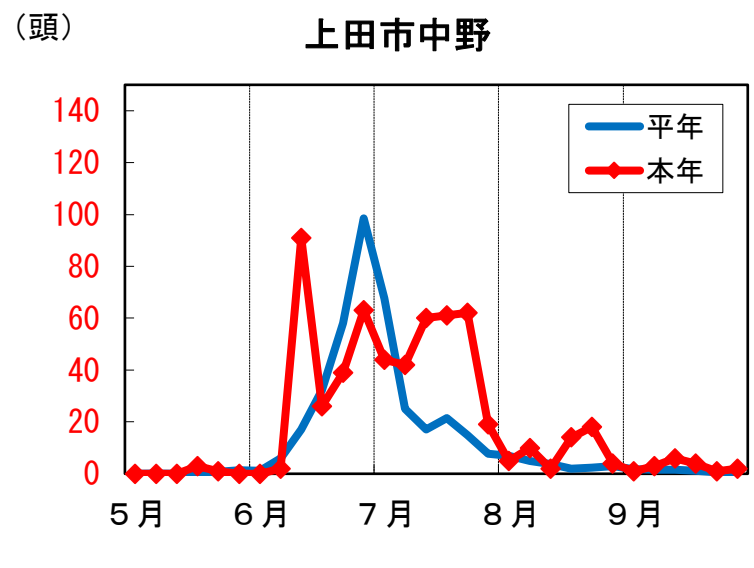
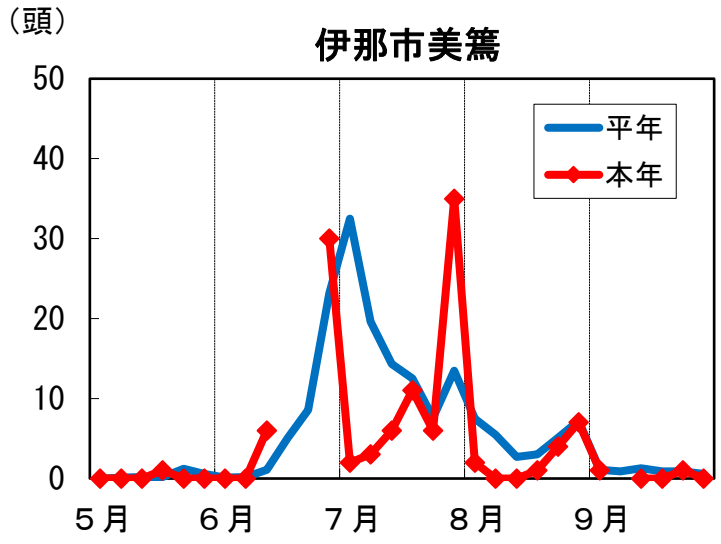
予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺消長【令和８年(2026年)】

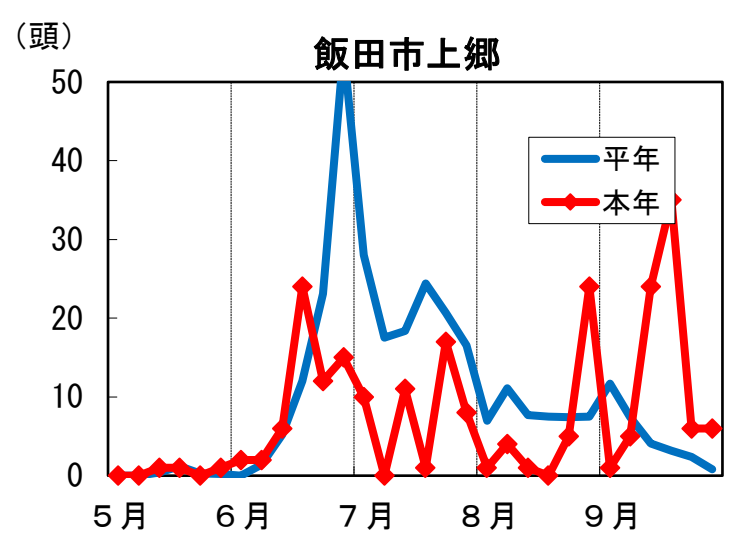


※平年：平成28年～令和7年（10年間）の平均

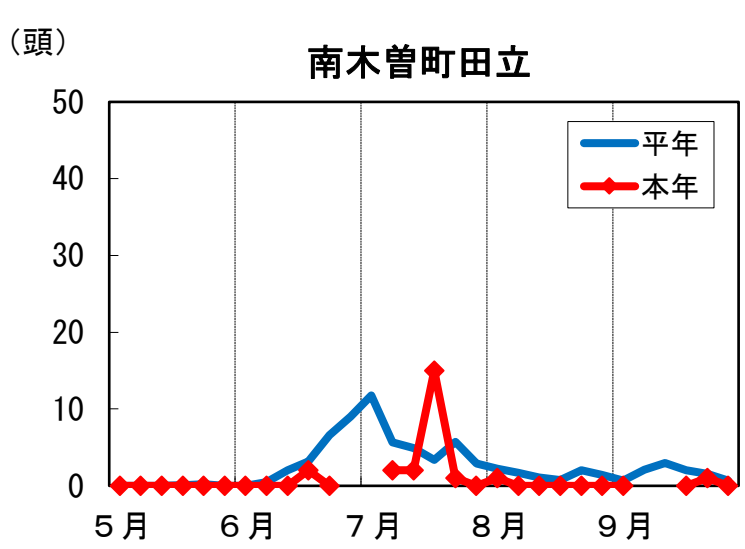
・上田市では、５月第４半旬に３頭が初誘殺されました。その後は平年並で推移しましたが、６月第３半旬に誘殺数が増加しました。６月第４半旬～７月第１半旬は平年と比べやや少なく推移したものの、７月第２半旬～第６半旬にかけては平年と比べ多く推移しました。８月第１半旬～第５半旬にかけては平年と比べやや多く推移しましたが、その後９月第６半旬までは平年並で推移しました。
・伊那市では、５月第４半旬に１頭が初誘殺され、その後６月第６半旬までは平年並に推移したものの、７月第１半旬～第３半旬にかけては平年と比べ少なく推移しました。一方、７月第６半旬は平年と比べ多くなりましたが、８月第１半旬～９月第６半旬にかけては平年並で推移しました（６月第４半旬～第５半旬及び９月第２半旬は予察灯の電球切れのため欠調）。
・飯田市では、５月第３半旬に１頭が初誘殺され、その後６月第４半旬にかけては平年並に推移したものの、６月第５半旬～８月第５半旬にかけては平年と比べやや少なく推移しました。一方、８月第６半旬は平年と比べ多く誘殺しました。９月第１半旬～第２半旬は再び平年と比べやや少なく推移しましたが、９月第３半旬～第６半旬は平年と比べ多く推移しました。
・南木曽町では、６月第４半旬に２頭が初誘殺され、その後は平年と比べ少なく推移しましたが、７月第４半旬は平年と比べ多く推移しました。８月第２旬～９月第６半旬にかけては、平年と比べやや少なく推移しました（６月第６半旬～７月第１半旬及び９月第２半旬～第３半旬は予察灯の電球切れのため欠調）。
・安曇野市では、６月第４半旬に７頭初誘殺され、その後は平年と比べ少なく推移しましたが、７月第４半旬～９月第６半旬にかけてはほぼ平年並～平年と比べやや少なく推移しました（６月第２半旬、７月第４半旬～第６半旬及び９月第４半旬～第５半旬は予察灯の電球切れのため欠調）。
・須坂市八重森では、５月第４半旬に初誘殺が１頭確認されました。その後６月第５半旬にかけては平年と比べやや少なく推移しましたが、６月第６半旬には平年と比べかなり多く推移しました。７月第１半旬には再び平年と比べ少なく推移しましたが、７月第２半旬～第４半旬は平年と比べかなり多く推移し、７月第５半旬～９月第６半旬にかけては平年並となりました。



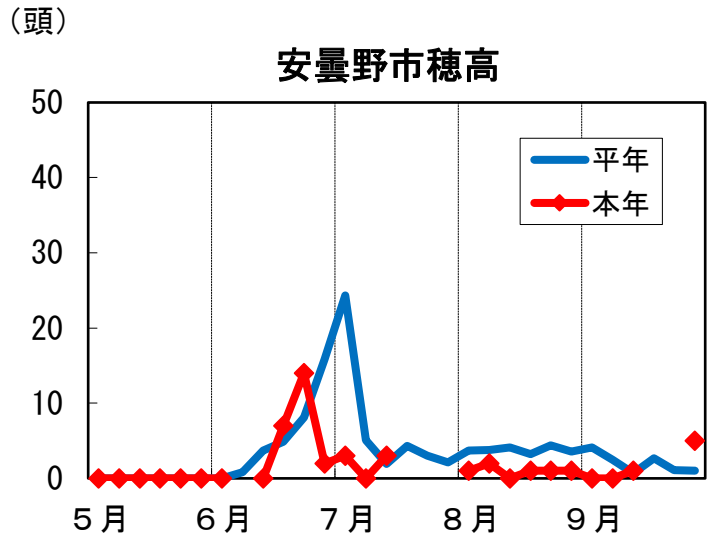
※平年：平成28年～令和7年（10年間）の平均



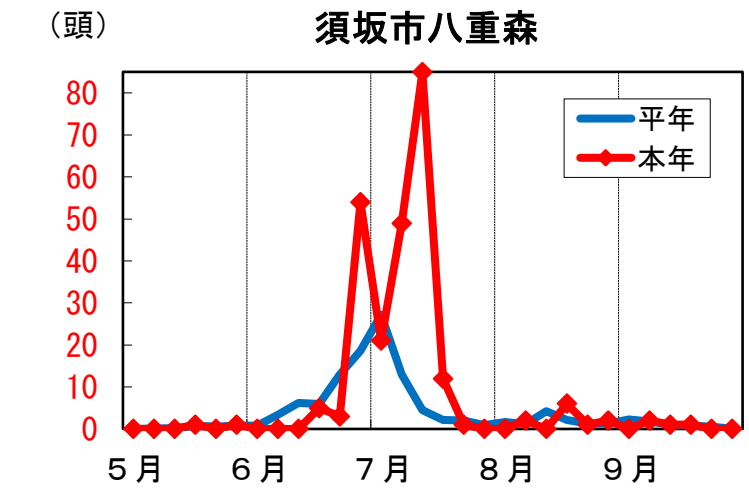
※平年：平成28年～令和7年（10年間）の平均



※平年：平成28年～令和7年（10年間）の平均



※平年：平成28年～令和７年（10年間）の平均



※平年：平成28年～令和7年（10年間）の平均

（参考）

１　発生生態

斑点米を発生させる主要害虫のアカヒゲホソミドリカスミカメは水田周辺の雑草地で年４～５世代発生を繰り返します。主として7月中旬以降に発生する第2世代成虫がイネの出穂に伴い水田へ侵入、稲穂にとりついて吸汁加害します。出穂期の早い早生品種で被害が多くなる傾向にあります。上のグラフは予察灯（ライトトラップ）で捕獲された成虫数です。

２　防除時期・対策等

出穂期10日後に防除を実施し、常発地では7日～10日後に追加散布を行います。粒剤は効果の発現までに時間を要するため、3日程度早く処理します。田畦畔の草刈りは出穂2週間前までに実施し、出穂直前はカメムシを水田内に追い込む恐れがあるため行いません。